

旧街道ウォーク350★古代東海道[番外編その2]

「古代東海道・鹿嶋路の遺構を石岡に訪ねて（高浜湊、舟塚山古墳、中津川遺跡、府中宿）」活動報告

【日 時】2009年10月3日（土）14:00～17:30 曇り

【コース】高浜駅～高浜神社（鹿島神宮遙拝所）～高浜湊（旧家・倉庫群）～舟塚山古墳＋愛宕山古墳～中津川遺跡（推定古代道遺構）～水戸街道府中宿（府中酒造、登録文化財商家群）～常陸国分寺参道～石岡駅＜歩行約8キロ＞ ※終了後オプション：土浦全国花火競技大会2009見物

【参加者】○矢部公大＋大竹亮、児山文一、高梨健一、橋本めぐみ、古里実、△佐藤晶子＋他1名（以上8名）
（○は主催者、△はオプションのみ参加）

【概況説明】

古代東海道の番外編企画として、石岡市中津川遺跡で発掘された道路遺構を中心に、高浜湊と府中宿を歩きました。高浜では、鹿島神宮遙拝所の高浜神社を訪れた後、霞ヶ浦と船溜まりの風景を眺め、残された旧家の町並みや使われなくなった倉庫群を歩き、往時の繁栄ぶりを偲びました。次に推定古代道に沿って府中宿（常陸国府）方向に歩き、舟塚山古墳、愛宕山古墳、そして中津川遺跡（推定古代道路遺構）を見学し、太古のロマンに思いをはせました。さらに推定古代道を歩いて水戸街道府中宿に入り、府中酒造をはじめ沿道の伝統商家群（登録文化財）や大正ロマン、昭和レトロの町並み散策を楽しみました。府中宿を抜けて常陸国分寺参道に至り、香丸資料館（土蔵茶房・ギャラリー）を見学して日没終了となりました。帰路、駅前通りの伝統商家で地元の銘酒や名産の佃煮を買い込み、土浦全国花火競技大会に向かいました。

【評価結果】

高浜の街については、かつての湊の繁栄を伝えるものが意外に多く残っている反面、現在の疲弊した状況や通過する車の多さなど課題も多く、評価が分かれました。舟塚山古墳群については、周辺も含めて保存状態が良好なこともあり、高い評価になりました。中津川遺跡の道路遺構については、道幅が狭いなどの疑問はあるものの、古代道路を彷彿とさせる姿に関心が集まりました。何とか保存・活用してもらいたいものです。石岡の街については、水戸街道の町並み整備が進み、登録文化財も多く、また商売に力を入れている様子が伝わり、全員がAという極めて高い評価になっています。オプションの土浦全国花火競技大会は、さすがに水準の高さと内容の濃さによって、混雑にもかかわらず、これまた非常に高い評価となりました。



常陸高浜／段丘上の小祠から霞ヶ浦を望む



水戸街道府中宿／修復されたまちなみを歩く

【参加者の評価結果】

1◆高浜の街について（高浜神社、船溜まり、旧家・倉庫群） 評価点：3.00 内訳 ABBBC

A：古代には常陸国府の湊であり、近世には物流の一大集積地であったこの地の繁栄の面影を感じ取ることができた。風格ある高浜神社、湊町の記憶を残す船溜まりや大きな倉庫群、旧道に沿った豪壮な商家や黒壁土蔵の町並みなどである。しかし、閉じられた商店や手入れがされていない建物も見られ、通過する車が非常に多く、かつての資産が立派であるがゆえに一層、「時の忘れもの」のような風情を感じさせ、何ともいえない寂寥感を呼ぶ。

B：高浜が古代に湊であったことを思い起こさせる遺構を、霞ヶ浦に臨む河岸段丘の上の神社や古い蔵など、そこかしかに見つけることができた。しかし、歩道のない狭い道路であるにもかかわらず、車の往来が激しいことにびっくりした。

B：じっくり歩いてみると意外に多くの蔵が家の奥にあったり、表側もなかなか見ごたえがあったりで、昔の繁栄を感じました。1人で行くと怪しまれているのではという気がしてじっくり見られないのですが、大竹さんの狙いの中でした。バス通りは、もともと土浦への裏道として車の量は多いのですが、この日は土浦の花火大会と重なっていたので反対側に渡るのに苦労しました。

B：昔ながらの蔵など多く残っており、昔の姿を忍ぶことはできると思います。ただ、土浦の花火に重なったせいか144号線（高浜神社東側の高浜中央交差点以東）は交通量も多く、とても歩きにくかったです。

C：霞ヶ浦の眺めが素敵でした。高浜神社の茅葺屋根の形がとても綺麗で、驚いた。次回修復時にできる職人さんがいるのかと少し不安。街道沿いに遺産というより普通に生活の一部として生かしているところがよかった。ただ、見る方としては交通量が多く危険。遺産という意識がないから仕方ないが、遺産として活かすなら、交通量を規制して歩いて楽しめる街にしてほしい。



常陸高浜／国司が鹿島神宮を遙拝した高浜神社



常陸高浜／かつての湊町の栄華を伝える商家

2◆舟塚山古墳と周辺について（舟塚山古墳、愛宕山古墳、陪冢） 評価点：4.20 内訳 AAABB

A：大きく立派な古墳でした。上に登ると、霞ヶ浦を一望した往古の風景がよみがえってくるようでした。珍しい陪冢（ばいちょう）や畑になった掘割の跡などから、昔の雰囲気が伝わってきました。墳丘の形も、とても美しかったです。

A：のどかな風景の中に陪冢（ばいちょう）を伴った立派な古墳があり、昔の情景も想像できそうで良い感じだったと思います。

A：古墳の墳丘が草むらになっていて形がよくわかります。回りにいくつかの陪塚（ばいちょう）といって本体の古墳の埋葬者の縁故者などの小さい古墳もいくつか残っていて、いいサンプルだと思います。

B：お濠が畑になっているため(?)古墳の形がわかりやすかった。周りの風景に溶け込んでいるので、雰囲気はとても良いと思った。

B：舟塚山古墳に登りその上を歩きまわること、その大きさを体感できた。300m隣の府中愛宕山古墳には、周辺の堀跡がそのままの形で畑になって残っているのが妙にうれしかった。

3◆中津川遺跡について（推定古代東海道・鹿嶋路遺構）

○古代道路の側溝断面を一部確認できたが、その間隔（道幅）が、2006年に西国分寺で見た古代東山道のものより、かなり狭いのが不思議である。高浜湊の先、霞ヶ浦の向こうの鹿島神宮、香取神社へ続く古代道ではないかとのこと。古代人が願いを胸に歩いた道であるらしい。歴史のロマンを感じる。

○現地で大竹さんが仰っていたとおり、国分寺の古代東山道跡に比べると、道幅が狭い気がします。また、道は途中で（高浜駅の方から見て）少し左に折れているように思ったのですが、その延長線上にあると思われる方向にも今後発掘されるであろう柵が作られていましたので、伸びている方向が今後判りそうな気がします。

○縄文・弥生・中世の複合遺跡です。両側に側溝があり、形としては古代道路でしょうか。現在の直線の道路に対し、発掘されている道路は少し角度がついているように見えました。インターネットで航空写真をいくつか見てみると、発掘されている部分は少し弓なりに湾曲していて、また今の道路の下に戻っているように見える写真（農地の色が多少違って見える）もありました。大竹さんの見解では、古代道路にしては幅が狭い、中央にもう一本溝を作って半分にして使用したのかなというのは、面白い見方だと思います。

○とても綺麗な道路断面を見ることが出来ました。図面上で予測したとおり道幅が3～4mと狭かったのですが、これは古道の半分くらいが現在の道路の下に埋もれているからではないかと思えます。真っ直ぐに、常陸国府から高浜湊へ伸びており、古代東海道・鹿嶋路ではないかとの思いを強くしました。現在の道路端にあって目立つので、発掘中に多くの人に見てもらっただけでなく、何とか保存・展示したいものですね。

○記録保存となるのか、はたまた何かに生かせるのか、今後に期待。



中津川遺跡／発掘された推定古代道の遺構



舟塚山古墳／東国第二の規模を誇る前方後円墳

4◆石岡の街について（府中酒造、商家の町並み、香丸資料館） 評価点：5.00 内訳 AAAAA

A：とても美しく、魅力的な街になっていました。およそ10年ぶりに訪れて、びっくりしました。水戸街道旧道のアーケードが取り払われて、立派な町家やレトロな商店が保存・修景されて並んでいました。府中酒造や国分寺参道の豪壮な黒壁土蔵の商家も見応えがありました。観光客の姿はなく、土産物屋も見あたりませんが、登録文化財の建物が多く、昔ながらの砂糖屋さんや農機具屋さんなどが今も元気に商売を続けている様子で心強いです。

A：明治の頃の蔵、昭和初期の商家が残ри、道路もよく整備されており、もっと観光客が来てもいいのにとします。今回はじっくり見られなかった国分寺や国分尼寺跡もあり、歴史見物の素材は十分あると思います。

A：登録有形文化財が12件18棟も登録され、その銘板が、建築物の紹介と併せて建てられていることに感心した。昭和レトロな看板建築も、街並みとなってつながっているところが素晴らしい。お店も観光地化されず、それでも元気に見えた。

A：歴史的な建造物も多く、電線が地中化されているなど、とても歩きやすかったです。

A：文化遺産を意識した街づくりがされていて、歩くのが楽しい街だと思った。



水戸街道府中宿／常陸国分寺参道の豪壮な商家



水戸街道府中宿／なつかしい路地裏の商店街

5◆土浦全国花火競技大会（オプション） 評価点：5.00 内訳：AAAAー

A：さすがは「全国花火競技大会」と銘打つだけあって、全国各地の93もの花火業者が創意工夫をこらした花火を次々に打ち上げていた。色や形も変化に富んでいて、まったく飽きなかったし、とても美しかった。

A：様々な趣向を凝らした花火があって良かったと思います。

A：かなり連続で打ち上げられ、見ごたえがあります。混雑すること以外はかなり良いと思います。

A：会場にたどり着くのが大変だったが、その苦労が十分報われる美しく、かつ珍しい花火を堪能できた。

ー：夜だったからか、屋間に匹敵する距離を歩いたように思われた。が、迫力のある花火を見られて満足。

6◆その他全体を通じての感想など自由に

○下車したことのない、高浜の魅力を発見できてよかった☆ 高浜の行く末？に不安もあるけど、何かのアクションがあれば・・・、とも感じた。(M・H)

○石岡近辺は、歴史に関する見どころが多くあります。いつかまた、番外編でもあればいいなと思っています。(K・Y)

○番外編は、前回の大江戸ツアーもそうでしたが、今回の石岡編も予想以上に見どころが多く、高浜、古墳、石岡とそれぞれが面白く、内容の濃い企画でした。番外編こそ見逃してはならないと実感した次第です。(M・F)

○恋瀬川河口付近の飛び地について調べていたところ、こんなページを見つけました。明治39年の地図が出ていますが、高浜駅の近くまで水路があったようです。恋瀬川の付け替えや干拓の関係で、飛び地になったように見えます。(K・T)

・茨城県南部の歴史的河川構造物を訪ねて

<http://staff.aist.go.jp/sudo-gsj/chishitsu567/index567.html>

4. 横利根川閘門を訪ねる (2) 高浜河岸に見る船運の重要性

<http://staff.aist.go.jp/sudo-gsj/chishitsu567/chishitsu567-4.html#42>

◆主催者より

突然の、しかも遠方の企画にもかかわらず、参加して下さった皆さん、ありがとうございます。長澤さんがTVニュースで見た遺跡発掘情報に始まり、矢部さんの数次にわたる現地調査と情報収集、そしていねいな現地案内のおかげで、短期間の準備でも充実した企画を組むことができました。とても感謝しています。私自身は、約10年ぶりにこの地を訪れ、当時のままの取り残された高浜と、すっかり美しくなった石岡のあまりにも対照的な光景に驚きました。来年1月に、古代東海道を歩いて石岡を訪れるのが楽しみです。最後に、花火大会では佐藤さんにお大変お世話になりました。おかげさまで、すばらしい花火を間近に解説付きで堪能できました。ありがとうございました。(大竹 亮)



推定古代東海道・鹿嶋路の遺構を検分する



土浦全国花火競技大会を楽しむ（オプション）